

第十三回高岡医療圏在宅・緩和医療懇話会 世話人会 議事録

日 時	平成 25 年 9 月 7 日 (土)	18:30~19:00
場 所	ホテル ニューオータニ高岡	3 階 雨晴(西)の間
出席者	小関クリニック 金沢医科大学氷見市民病院 厚生連高岡病院 総合がん診療センター 白川クリニック 高岡厚生センター 高岡市医師会訪問看護ステーション 高岡市介護サービス事業者連絡協議会 介護支援事業者部会 高岡市民病院外科 高岡市薬剤師会 高嶋クリニック たかはし内科医院 富山県済生会高岡病院 富山県済生会高岡病院 済生会高岡病院 (高岡在宅・緩和医療懇話会 事務局代表) 塩野義製薬株式会社 武田薬品工業株式会社	小関 支郎 先生 斎藤 人志 先生 柴田 和彦 先生 白川 尚哉 先生 守田 万寿夫先生 野田 美加 先生 宮内 友子 先生 辻本 優 先生 中川 加代子 先生 高嶋 達 先生 高橋 徹 先生 飯田 博行 先生 村上 望 先生 中瀬 剛司 様 川本所長 中家 隆太 平栗 靖之
欠席者	稲尾医院 射水市民病院 斉藤外科小児科クリニック 社会保険高岡病院 平野クリニック 藤田内科クリニック	稲尾 次郎 先生 太田 長義 先生 斉藤 大直 先生 宮崎 幹也 先生 平野 誠 先生 藤田 一 先生
議事進行	代表世話人 小関クリニック	小関 支郎 先生
議事補佐	たかはし内科医院	高橋 徹 先生

議 題

1) 会計報告

富山県済生会高岡病院 中瀬氏より収支報告&HP 現状について (資料別添)

小関先生

『斉藤先生に承認頂いて下さい』

※世話人会終了後、飯田先生より次回から斉藤先生に承認印を頂いた資料を世話人会で使用するようにと指摘。

2) 新世話人のご紹介

2013年6月 黒澤 豊先生から交代された森田 万寿夫先生を新世話人として満場一致で承認。

3) 第十四回 当番世話人について

高嶋クリニック 高嶋 達 先生 (拍手にて承認)

4) 第十三回 開催時期について

平成26年3月15日 (土)に決定。

5) 第十三回 開催内容&特別講演講師について

村上先生より別紙資料 (資料1-1, 1-2) に紹介

『招聘講師は、あおぞら診療所 (千葉県松戸市) 川越 正平先生に3月15日で了解済み。川越先生は、東京大学との臨床研究を実施するなど柏プロジェクトのコアメンバーで大変著名な先生。川越先生よりグループワーク形式での開催を希望。当会初めての試みである。ご意見は?』

宮内先生

『ケアマネは症例検討などグループワーク形式でカンファレンスを実施しているので、開催方法に問題はないと思う。』

辻本先生

『グループワーク形式は賛成。グループを決める為に参加者への案内はどうするのか?』

村上先生

『1グループに専門職を入れて8名前後希望。例年50名前後の参加者がいる。その為、予め3グループ設定 (グループ案:平野先生 (高岡市)、高橋先生 (射水市)、嶋尾先生 (氷見市))。その他の参加者は、一般参加形式各グループに分けディスカッションを聴講または追加発言可能とする。』

小関先生

『グループワーク形式に見学者がいるのは、普通ではないが・・・・？』

村上先生

『5～6 グループ作るのは、発表時間等を考えると非常に時間が掛かる。

コアメンバーで3 グループ程が妥当ではないか？今後、先生方に相談しながら、最終的に川越先生へ了承を得る。』

6) 報告・協議事項

- ・在宅緩和ケア地域連携パス（資料2）

- ・今後のパスの方向性として、IT化について

村上先生

『現在パスは、紙ベースで運用しているが、今後のIT化についてご意見を？』

高橋先生

『IT化にあたってセキュリティー(個人情報)とコストの問題が発生する。

IT化を進めていくには作業部会を設置して検討していく方がよい。

現在、高岡市民病院主導で高岡連携ネットが進められている。参画するには回線を並列で増設し、ルーター費用として7万円負担する必要がある。』

白川先生

『高岡連携ネットに5大がんパスが導入されると聞いている。そこに在宅緩和ケア地域連携パスも組み込むことはできないのか？』

小関先生

『連携ネットには、高岡市民病院と厚生連高岡病院が参画しているが、済生会高岡病院・氷見市民病院が参画していない。』

飯田先生

『現在、済生会高岡病院も連携パスについて情報入手をしている。来年度に参画に向けて検討している。』

斉藤先生

『氷見市民病院も連携ネット参画に向けて検討している。』

小関先生

『稲尾先生が医師会の連携ネットの担当であり、今後医師会と協議しながら進めていく。』

7) その他

- ・今後の開催方法について

川本所長（塩野義製薬）

『開催メーカーとして本研究会のお手伝いを継続させて頂きたいが、次回より懇親会形式ではなく軽食形式での開催方法で世話人会にて承認頂きたく考えています。しかし、本日時間がない為、改めて武田薬品 湊所長と先生方へ訪問させて頂きます。』

小関先生（代表世話人）

『時代の流れから、仕方がないことですが、ご意見如何ですか？』

高嶋先生（氷見市、第十四回当番世話人）

『わざわざ訪問して頂くこともなく、この場で決定しましょう。』

小関先生（代表世話人）

『それでは、今後メーカーの無理のないところで実施して下さい。』

以上